

[008]附属図書館研究開発室の概要 : 2003～2004(第8年次)

<https://doi.org/10.15017/16790>

出版情報 : 九州大学附属図書館研究開発室年報. 2003-2004, pp. 1-31, 2004-10-01. 九州大学附属図書館
バージョン :
権利関係 :



1月28日 附属図書館講演会

○加藤好郎（慶応義塾大学三田メディアセンター事務長）「私立大学図書館の経営戦略：図書館職員の育成計画」

○喜田室員、藤崎室員、南俊朗特別研究員「RFIDによる図書館運用について：図書館の電子化・自動化に向けて」

2月4日 筑紫分館においてICタグによる図書館システムの披露式を行った。

2月20日 ラテン語古刊本書誌作成研修会の第5期目を終了

2月27日 喜田室員「九大附属図書館における情報リテラシー教育活動とe-Learningへの取り組み」（沖縄県図書館協議会講演会招待講演）（於：琉球大学）

平成15年度・16年度上期（平成15年4月～9月）

平成15年6月26日 有川室長「図書館が変われば大学が変わる」（国立大学図書館協議会50回記念総会記念講演）（於：大宮市）

7月9日 藤田副館長を講師として、職員の会計簿記勉強会を8回にわたって開催した。

10月31日 台湾大学図書館と図書館間交流協定を締結。（於：本学附属図書館）

平成16年5月15日 宮崎室員による公開講演会「“再発見”シーボルト『NIPPON』」（於：附属図書館視聴覚ホール）

5月19日 韓国ソウル大学校中央図書館との図書館業務交流に関する覚書調印

5月20日 九州大学附属図書館とソウル大学校中央図書館による国際セミナー「響きあう図書館ルネッサンス：日韓大学図書館の最新技術と図書館協力」（於：筑紫分館）

平成16年7月1日 西村室員の指導によるラテン語書誌作成研修会の活動に対して国立大学図書館協会賞が授与された。（於：大阪大学）

平成16年9月16日 日韓ILL/DD運用テストの評価及び暫定サービスに関する合同会議出席（荒木室員、甲斐情報システム課長）（於：韓国教育研究情報院）

9月25日 米国図書館視察（渡邊雑誌情報掛長）（インターナショナル・ビジター・プログラムによる）

○訪問先：Library of Congress

○調査内容：アメリカ合衆国のレファレンスとインフォメーションサービス



調査・視察等

平成9年11月15日 米国大学図書館視察（柳原室員、末次情報管理課長補佐）

○訪問先：シカゴ大学図書館、アメリカ図書館協会本部他

○調査内容：大規模大学図書館の組織・運営・サービス、電子図書館化、研究開発機能等の実態調査。

平成11年10月31日 東南アジア大学視察（柳原室員、栗山情報管理課長補佐、益森電子情報掛長）

○訪問先：国立シンガポール大学、チュラロンコン大学、タマサート大学図書館他

○調査内容：東南アジアにおける電子図書館化の現状、英語以外の言語使用国における電子図書館化の状況及び組織・運営・サービス・予算等の実態調査。
(11月5日まで)

- 平成12年 3月24日 ソウル大学校中央図書館訪問（有川室長、今西室員、佐田事務部長）
- 6月16日 ソウル大学校中央図書館訪問（今西室員、田中情報サービス課長、山田情報システム課図書館専門員）
- 6月27日 米国大学図書館視察（今西室員、中野三敏名誉教授、古賀情報サービス課図書館専門員）
○訪問先：カリフォルニア大学バークレー校、スタンフォード大学
○調査内容：和漢書の書誌調査、図書館運営の実態等
- 11月17日 韓国大学図書館視察（今西室員、山口情報サービス課掛員、木村医学分館相互利用掛長、松田六本松分館閲覧掛長、阿部経済学部図書掛長）
○訪問先：韓国高麗大学、梨花女子大学他
○調査内容：韓国における大学図書館の電子図書館化の状況、利用サービスの現況等の調査。
- 11月18日 オーストラリア大学図書館視察（江藤雑誌情報掛員）（九州大学創立八十周年記念事業による）
○訪問先：オーストラリア国立大学、モナッシュ大学
○調査内容：オーストラリアにおける大学図書館のコンソーシアムの実態等について調査。（11月25日まで）
- 平成13年 2月16日 韓国大学図書館等視察（松原室員、園田医学分館図書館専門員、田村情報サービス第二掛長、林田データベース掛長）
○訪問先：韓国釜山大学、慶山大学、韓国中央図書館他
○調査内容：電子図書館化、データベース化の現状、利用サービスの実態等を調査
- 3月20日 韓国ソウル大学校を訪問（有川室長、今西室員、南室員、高塩情報管理課長）
○用務内容：ソウル大学校中央図書館との交流協定事業のひとつである、刊行物の交換の一環として、ソウル大学校出版会と九州大学出版会の刊行物を相互に寄贈交換することについての協議を行い、合意に達した。
- 6月15日 宮崎県北方町立図書館を訪問（有川室長、南室員、藤崎室員、佐田事務部長、田中情報サービス課長、栗山情報管理課補佐、昌子情報サービス第二掛長、井上医学分館専門員、緒方医学分館相互利用掛長）
○調査内容：ICタグによる図書館システムの運用状況調査のため。
- 平成14年 2月22日 韓国慶北大学校を訪問（有川室長、今西室員、松原言語文化研究院教授、栗山情報管理課長補佐）
○用務内容：図書館間交流協定締結のための協議を行い、締結に向けて相互に手続きを推進することを確認した。
- 平成15年 2月10日 中華民国台湾大学を訪問（有川室長、松原室員、岩佐言語文化研究院教授、園田情報サービス課専門員）
○用務内容：台湾大学図書館との図書館間交流協定締結のため項潔図書館長との協議を行い、締結に向けて相互に手続を推進することを確認した。



関連規則等

九州大学附属図書館研究開発室の設置について

(平成8年2月20日評議会決定)

(平成11年5月21日評議会改正)

(平成13年3月23日評議会改正)

一 設置

九州大学附属図書館に、研究開発室を置く。

二 目的

研究開発室は、大学における学術情報の収集、加工、蓄積、提供及びその他図書館が行う教育研究支援活動の改善に関する事項のうち、附属図書館長が指定する課題について研究開発を行い、もって高度な図書館サービスの実現に寄与することを目的とする。

三 室長

- 1 研究開発室に室長を置き、附属図書館長をもって充てる。
- 2 室長は、研究開発室の業務を総括する。

四 室員

- 1 研究開発室に室員を置く。
- 2 室員は、指定された課題について研究開発を行う。
- 3 室員は、本学の教官のうちから、附属図書館長の推薦に基づき、総長が任命する。
- 4 室員の任期は一年とし、再任を妨げない。

五 事務

研究開発室の事務は、附属図書館情報管理課において処理する。

六 その他

この決定に定めるもののほか、研究開発室の運営に関し必要な事項は、室長が定める。

附記

- 1 この決定は、平成8年4月1日から実施する。
- 2 研究開発室は、平成8年4月1日から平成13年3月31日までの間存続するものとする。ただし、同室の成果の評価を踏まえて見直しの上、平成13年4月1日以降も存続する必要がある時は、適切な時限を設けて、評議会の了承を得るものとする。
- 3 前項の研究成果の評価の結果、研究開発室は、平成13年4月1日から平成18年3月31日までの間存続するものとする。ただし、同室の成果の評価を踏まえての見直しの上、平成18年4月1日以降も存続する必要があるときは、適切な時限を設けて、評議会の了承を得るものとする。